

祭事暦		
12月1日・20日	午前8時30分	祭
月次		祭
12月14日	午前8時30分	祭
煤拂		祭
12月23日	午前10時	祭
天長		祭
12月31日	午後1時	式
師走大被		引続
除夜		祭



発行所  
寒川神社社務所

〒253-0195  
神奈川県  
高座郡寒川町宮山3916  
電話 代表0467(75)0004

編集者 前島 正  
印刷所 樹さんこうどう

平成二十七年 きのとひつし 乙未年

# 寒川神社 迎春神話ねぶた



やまたのおろちたいじ  
題名 「八岐大蛇退治」

作：北村蓮明

## 鎮守の森

早朝に白衣、袴姿で神社境内を清掃していると参拜の方からご挨拶を受ける。私にばかりでなく参拜者同士が互いに「おはようございます」と声を掛け合って神前に進みお参りをしている状況は実に気持ちよく、神々しさを共有する一時でもある。「清らしい」は「広辞苑」に爽やかで気持ちが良い、事の運び方に滞りが無い、事に取りかかるとにためらいが無い等の意味合いがあると記されている。神職が祭典及び御祈禱で奏上する祝詞の中にも「清らしい」という言葉が常套句のように入っており神前に祈念される。何か祈願事が叶えられる感を抱く。「古事記」の「八雲立つ」の段落には須佐之男命の話がある。毎年村を襲って人々を困らせるヤマタノオロチを退治し、櫛名田比売を救い出した。須佐之男命は婚儀を行い、何処が良い所に住居を建てようと探し求め歩いていると、ある時最適な土地に行き着く。「吾此地に来て、我が御心須賀須賀」と大変感激されて早速に宮殿を造って住まわれたとある。この土地が「須賀」という地名であり、今でもそのように呼ばれる。さて今年も自然災害が多発し祈りが捧げられたが師走を迎えた。何かと気忙しい事が予想されるが、常に齧りを持たず「清らしい」日々を過ごしたいものである。今月の神社の恒例祭典は月次祭煤拂祭、天長祭、師走大被式が斎行される。大勢の皆様方に御参列をいただき、神職共々身も心も清らかに参り、大神さまの広大無辺なる御神徳を戴ける清らしい新年を迎えられる事、御祈念致します。

(渋谷幹寛)

●  
祝祭日には  
国旗を掲げましょう

# 新嘗祭齋行

## 篤志奉納者を表彰

十一月二十三日、本年の五穀豊穰と産業の振興を祝い感謝する祭典、新嘗祭が厳肅に斎行されました。

当日は、近隣の生産者より新穀、白酒、農作物、餅菓子、花、魚等の奉納があり、御神前に所狭しと飾られ、神の御恵みに真の感謝が捧げられると共に、皇室の御安泰と崇敬者の更なる弥栄が祈念されました。



祭典終了後には参集殿にて記念式典が行われ、この一年間に篤志奉納をされました方々が表彰されました。



### 篤志奉納者芳名

- ◆ 橋本京子殿
  - ◆ 岩崎金壽殿
  - ◆ 大倉眞澄殿
  - ◆ 柴山壽子殿
  - ◆ (株)竹中工務店
- 横浜支店 殿  
(順不同)

### 第四十七回

## 菊花・写真展開催

本年度で四十七回目を迎えました菊花・写真展が、十一月十日より二十四日にかけて開催されました。

菊花展の審査長に遠藤吉和氏、また副審査長に高橋正夫氏、そして写真展の審査長を伊奈喜久雄氏にお願いし、厳正なる審査の結果、次の方々が入賞され、新嘗祭に併せて表彰式が執り行われました。

### 菊花展入賞者

(敬称略)

- 寒川神社宮司賞  
厚物「新太平の銀峰」  
三橋 太一
- 神社本庁統理賞  
細管「天女の名所」  
柳澤 芳夫
- 厚物の部  
金賞 岡田 秀磨  
銀賞 佐野 晴子  
銅賞 関場 清昭  
寒川町長賞 佐野 多昭  
さがみ農協寒川地区賞 秋山 美好  
寒川ライオンズクラブ会長賞 三橋 太一  
横浜銀行茅ヶ崎支店賞 松野 寛  
湘南信用金庫寒川支店賞 後藤 勤  
三井住友銀行藤沢法人営業部賞 吉田 茂雄  
三昭グループ/中華一番/嵐坊賞 笠岡 忠志  
松原不二男  
大城 征治

### 読売神奈川広告社賞

- ニッポン放送賞 屋城善二郎
- エフエム東京賞 木村 哲雄
- FMヨコハマ賞 清田 美躬
- ジェイコム湘南賞 秋山 美好
- 大賞 久男
- 原 信子
- 佐野 則夫
- 内藤 多昭
- 三橋 重夫
- テレビ神奈川賞 重夫



【菊花展 宮司賞】

### 入選

- 内藤 俊雄
- 半谷 昭雄
- 大貫 明
- 梶 俊一
- 小川 敏幸
- 大城 征治
- 藤川 吉彦
- 二宮 和昭
- 水島 勝守
- 土方 芳夫
- 三野 輪夫

### 厚走の部

- 宗像 弘光
- 長澤 弘光
- 松原不二男
- 原 則夫
- 寒川町議会議長賞 長澤 弘光
- 寒川ロータリークラブ会長賞 長澤 弘光

### 大管の部

- 清田 美躬
- 米山 晃
- 玉尾 功
- 福岡 堅
- 寒川町観光協会賞 山崎 俊男
- 湘南信用金庫寒川支店賞 山崎 俊男
- 読売神奈川広告社賞 小川 敏幸

### 入選

- 小川 敏幸

### 間管の部

- 岡田 秀磨
- 伏田 茂隆
- 土方 勝守
- 五十嵐良男

### 寒川ロータリークラブ会長賞

- 渡辺 要治
- 三井住友銀行藤沢法人営業部賞 伏田 茂隆
- 熊澤酒造賞 福島 忠志
- 三昭グループ/中華一番/嵐坊賞 原田 幸光
- 読売神奈川広告社賞 後藤 昌勤
- エフエム東京賞 柿澤 昌勤

天利 清勇 (寒川町)  
 藤好 晴武 (寒川町)  
 山崎 好文 (藤沢市)  
 落合 (藤沢市)

菊花奉獻者

(順不同・敬称略)

【菊花展 神社本庁統理賞】



FMヨコハマ賞 渡辺 要治  
 ジェイコム湘南賞 大木 治男  
 入選 小峰 勝子  
 土方 勝守 喜男  
 阿諏訪 豊 麻生 喜男  
 細管の部  
 銀賞 阿諏訪 豊  
 銅賞 水島 征進  
 日本郵便株寒川郵便局長賞 大城 征治  
 ニッポン放送賞 安池 三雄  
 エフエム東京賞 大楽 松雄  
 FMヨコハマ賞 大出 邦男

杉山 春夫 (藤沢市)  
 柳澤 芳夫 (藤沢市)  
 田中 博司 (藤沢市)  
 奥津 一雄 (藤沢市)  
 佐野 晴昭 (藤沢市)  
 佐野 晴昭 (藤沢市)  
 渡野 昭義 (藤沢市)  
 八木 邦久 (座間市)

ジェイコム湘南賞 岡田 秀磨  
 入選 松原 不二男  
 福助の部  
 金賞 長澤 弘光  
 銀賞 荒田 清晴  
 銅賞 藤好 洋司  
 入選 小川 敏夫  
 田中 則夫  
 高屋敷 敏昇  
 三橋 太一  
 清田 美躬  
 松野 有寛  
 高津 美躬  
 二宮 和昭  
 長澤 寛光  
 松澤 弘光  
 関場 清  
 清田 美躬  
 七本立の部  
 審査長賞 柳澤 芳夫  
 寒川ライオンズクラブ会長賞 岡田 秀磨  
 横浜銀行茅ヶ崎支店賞 佐野 多昭  
 熊澤酒造賞 土方 勝守  
 テレビ神奈川賞 後藤 勤  
 入選 関場 清

勝場 利清 (座間市)  
 関川 光男 (伊勢原市)  
 笠原 敏男 (伊勢原市)  
 森井 茂雄 (伊勢原市)  
 上原 敏幸 (伊勢原市)  
 小川 要治 (大磯町)  
 渡辺 貞雄 (平塚市)  
 大出 昭進 (平塚市)  
 二宮 和昭 (平塚市)  
 柴田 精一 (平塚市)  
 笠間 和民 (綾瀬市)  
 土屋 忠志 (綾瀬市)  
 内藤 俊雄 (綾瀬市)  
 金子 静夫 (大和市)  
 伊藤 源一 (大和市)  
 沖藤 紘明 (大和市)  
 狩戸 国三 (大和市)  
 山小 勝己 (大和市)  
 山口 三三 (大和市)  
 前田 常俊 (大和市)  
 大野 高俊 (横浜市)  
 富樫 武夫 (横浜市)  
 高立 敏夫 (横浜市)  
 田中 巧三 (横浜市)  
 眞名子 弘 (横浜市)  
 石原 達男 (横浜市)  
 小川 喜久馬 (横浜市)  
 田島 喜久馬 (横浜市)  
 杉本 修 (茅ヶ崎市)  
 菅野 仁蔵 (茅ヶ崎市)  
 荻野 郁夫 (茅ヶ崎市)  
 小松原 輝夫 (茅ヶ崎市)  
 野村 守永 (茅ヶ崎市)  
 和田 英行 (茅ヶ崎市)  
 半谷 昭雄 (茅ヶ崎市)  
 佐藤 誠一 (海老名市)  
 佐藤 誠一 (海老名市)  
 米藤 和史 (海老名市)  
 小峰 勝子 (海老名市)

金賞 杉崎 信行  
 銀賞 清水 進  
 銅賞 小林 力  
 原田 秀次郎  
 末次とし子



神社本庁統理賞  
 「大抜の日」  
 荒井 三郎



写真展入賞者  
 (敬称略)  
 寒川神社宮司賞  
 「新年」  
 柳 盛康

寒川町長賞 堀米 和夫  
 茅ヶ崎市長賞 荒川 誠  
 寒川町議会議長賞 坂井 清八  
 寒川町教育長賞 市川 正則  
 寒川町観光協会賞 小菅 利夫  
 日本郵便株寒川郵便局長賞 岡崎 倫枝  
 寒川ライオンズクラブ 会長賞 矢内 良一  
 寒川ロータリークラブ 会長賞 堀 洋己  
 三昭グループ／中華一番 蛭田 俊雄  
 嵐坊賞 松山 進  
 原田 雅子  
 高橋由美子  
 高橋 茂男  
 清水 敏子  
 小澤 俱治  
 柳川 武春  
 仁藤 政一  
 末次 巖  
 猿渡 政吾  
 荻原 勇一  
 下里 勝二  
 古郡 和敏  
 石井 吉雄  
 横田 美彦  
 飯野 勝二  
 下川 勝夫  
 和田 輝利  
 安河内 榮子  
 上原 英樹  
 伊藤と志子  
 木村 哲雄  
 読売神奈川広告社賞  
 ニッポン放送賞  
 エフエム東京賞  
 FMヨコハマ賞  
 テレビ神奈川賞  
 ジェイコム湘南賞



# 明治祭齋行

現在「文化の日」として  
 広く国民に親しまれている  
 十一月三日は近代日本国の  
 建国発展にご尽力なされ今  
 日の日本の礎を築かれた  
 明治天皇の御生誕の日であ  
 ります。

この日、明治天皇の聖徳  
 大業を仰ぎ、皇室の弥栄と  
 国家国民の繁栄を祈念する  
 「明治祭」が厳肅に齋行さ  
 れました。



## 永職会例会開催

十一月十二日、永職会  
 (会長 出雲大社千家尊祐  
 宮司) の第一〇六回例会が  
 会長他二十数名の出席を得  
 て、寒川神社にて開催され  
 ました。

正式参拝の後、参集殿に  
 て例会を開き、寒川病院の  
 鳴海院長により、神社が運  
 営する全国で唯一の病院と  
 しての運営理念、概要等を  
 解説しつつ講演が行われま  
 した。



宮司以下祭員玉串拝礼

その後、会場を箱根に移  
 し紅葉を愛でつつ懇親を深  
 め、解散いたしました。



## 神宮大麻曆 頒布始まる

県神社庁相模湘南支部の  
 神宮大麻曆頒布始奉告祭が  
 管内神社宮司参列のもと  
 十一月十一日に寒川神社に  
 て齋行されました。

神宮大麻は、我国の大親  
 神と称え奉る天照大御神の  
 神札のことで、新年を迎え  
 るに当たり、来る年も恙な  
 く健やかに生活が営まれる  
 よう氏神様の神札と共に神  
 棚にお祀りする御神札です  
 大御神様の神霊が宿る新  
 しい神札を受け、清々しい  
 新年をお迎え致しましょう



▶ 齋主より大麻を受ける支部長

## 彩帆香取神社例祭奉仕

権禰宜 長谷川

潤

去る十月二十四日から二  
 十七日まで、北マリアナ諸  
 島サイパン島に鎮座する彩  
 帆香取神社の御鎮座百周年  
 例祭に伶人として奏楽の機  
 会を得て、奉仕をしまい  
 りました。

この彩帆香取神社は大正  
 三年に創建されてより本年  
 が百年という節目の佳年で  
 あり、例祭は全国の香取神  
 社の総本社として千葉県香  
 取市に鎮座する香取神宮の  
 高橋昭二宮司様を齋主とし  
 て、日本から約百名、現地  
 関係者を含めると総勢百五  
 十名を超える参列者の中  
 厳肅に祭典が齋行され、終  
 了後には現地在住日本人の  
 子供達の七五三祝祭も執り



慰霊碑前での祭典奉仕

午後からは同島北部に建  
 立された慰霊碑の前にて  
 英霊の御霊を慰める慰霊祭  
 が齋行され、夕刻からは現  
 地日本人会の主催による秋  
 祭りが盛大に行われました



一連の行事を通  
 し、異国の地にお  
 いても鎮守様を中  
 心とした日本人の  
 原風景を体験する  
 貴重な奉仕となり  
 ました。



# 師走大祓式

罪穢を祓い清め  
清々しく新年を  
迎えますよう

十二月三十一日「水」

午後一時齋行

相模国 寒川神社



## 吉川精二氏敬神功労章を受章

町内兼務神社である八幡大神の責任役員吉川精二氏が神社本庁より敬神功労章を受章されました。  
同章は、「神宮及び神社の役員及び総代その他の氏子崇敬者にして特にその功績顕著なる者に授与する」と規定されており、ご本人のみならず神社にとりまして大変名誉な事であり衷心よりお祝いを申し上げます。

## 職員研修会開催

十一月十日、十一日と二班に分けて、県神社庁相模湘南支部主催の教養研修会が開かれ、総勢五十三名が受講致しました。

本年は、講師に神道政治連盟主席政策委員の田尾憲男先生を迎え、「憲法改正問題について、日本国らしい憲法を考える」と題し講演を頂きました。

自主憲法制定の機運が昂まる中、憲法改正の必要性を判り易く講義頂き、実りある研修となりました。



## ◆ 功労表彰者 ◆ 高倉健氏ご逝去

功労表彰受章者である俳優の高倉健氏が十一月十八日に八十三歳を以って御逝去されました。

ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

氏は、五十年来の永い崇敬者であります。出演映画の撮影前の安全・成功祈願、撮影後のお礼参りを始め、事ある毎に参拝され、一心に祈る姿や一般参拝者の方に迷惑が掛らないようにとの配慮から、時間帯を選び一人でお詣りされる謙虚なお人柄が偲ばれます。



宮司と歓談中の故高倉氏

### 今月の木札

◀ 師走



月次祭にご参列された方などにお頒けする木札です

四季は廻り新年を迎える。今、生かされている事を実感し平穏な生活に感謝。そして向こう一年の幸運を神に願うのである。



452

健康手帳

# 嚥下(のみこみ)について

宗教法人 寒川神社 寒川病院  
耳鼻咽喉科医長 大上麻由里

嚥下(のみこみ)とは食物を口から食べて胃に送る行為です。これは日常当たり前のように行われており単純なことのようと思われるかもしれませんが、実際には口から(咽頭・喉頭)のいろいろな部分が役割分担して行われています。

嚥下には食物を送り込む一定の力が必要です、またのどは空気の通り道でもありますので食物が気管へ誤って落ちないようにすることが必要です。そのため口に入った食物をのどから食道へ送る際にはまず口腔と鼻腔の間が閉じられ、喉頭全体が前方上に移動するとともに喉頭から気管へ食物が落ちないように喉頭蓋とよばれるふたがされ、咽頭が収縮して食物に送る

力を加えるとともに普段は閉まっている食道の入り口を広げるといって一連の共同運動が1秒もかからないうちに反射的にタイミングよく行われています。これらの動きが円滑に行われるためにはのどの知覚、脳の嚥下中枢からの指令、のどの筋肉の運動がスムーズに協調的に働く必要があります

このような口から食道にかけての仕組みのどこかに問題が生じると食物がスムーズに食道へ送れなくなりま

す。その状態を嚥下障害といえます。嚥下障害の症状は多彩で食物がつかえたり飲み込み時にむせたり痛かったりするだけではなく、飲み込んだ後に残っている感じがしたり声がかがらなくなることもあります。気管

に誤って入った場合はむせて気管から排出させようとする反射が起こりますが、嚥下運動障害とともにむせる機能にも同時に不具合を生じている場合もありますこのような場合、口の中の雑菌が食べ物や唾液と一緒に気管から肺に入り肺炎を生じることがあり、これを誤嚥性肺炎といいます。この状態になると痰や咳が増え微熱が続く身状態が徐々に悪くなります。

嚥下障害は一過性のものの炎症などでも生じますが持続的なものは脳血管障害の後遺症、神経や筋肉の病

気、咽頭・喉頭・食道の腫瘍、頭や首の外傷などで生じます。また加齢によって嚥下機能は徐々に低下します。嚥下についてご心配がある場合は内科や耳鼻咽喉科の先生にご相談されると良いでしょう。



## 人事

### ◆退職

△神恵苑△

看護師 吉澤美恵子  
願いに依り職を免ずる  
平成二十六年十一月三十日

## 神嶽山神苑

### 行事案内

### 神楽舞と雅楽の奉奏

十二月七日(日)

午前十一時・午後二時より開催  
約二十分間(雨天時は中止)

※本年神嶽山神苑は

十二月七日(日)まで開苑  
致します。紅葉真盛りの  
季節、どうぞご来苑下さい

※尚、入苑はご祈禱をお受けに  
なされた方に限りです



## 医療講演会のご案内

とき 平成二十六年十二月十八日(木)

午後二時~三時

ところ 寒川神社参集殿 **入場無料(申込不要)**

内容 「お腹をこわした時の話」

講師 消化器科医長 原 正

問合せ 電話 〇四六七(七五)六六八〇

寒川病院

# 冬川俳壇

菊人形背中の辺りはまだ蕾  
雲という雲を燃やして冬夕焼  
からすみを干し鎌倉の路地小春  
おでん買ふ一品ごとに指さして  
小春日や欠伸小さく手に包む  
色褪せた母のメモ帳文化の日  
節くれのそれが勲章文化の日  
柳散るここは倉敷蔵の町  
方言で迎ふ女将や秋深し  
逆光の夕日ざらつく破れ蓮  
破れ蓮や一瞬鯉の立ち泳ぐ  
縦書きにまだこだわりて文化の日  
二百号の会報に声愷堂忌  
薄れ行く昭和の想い文化の日  
小学生稲を刈る子に運ぶ人  
日向山段々畑の蕎麦を刈る  
夜に入りて朝刊見直す文化の日  
へそくりの置場に迷う虫の間  
初冬や炊きたてご飯に生玉子  
一人しか喰わぬ秋刀魚を焼いており  
枯葉舞ふ宙にひらがな地に漢字  
畑から電話の知らせ文化の日  
文化の日ラチ才は叙勲者報じけり



- 根岸 君子
- 松本美智子
- 露木てる子
- 伊藤 公一
- 菅沼 保幸
- 倉谷 節子
- 竹村真砂美
- 芹澤 徳光
- 岩田美代子
- 山本 朝子
- 金指 月光
- 飛石 槿花
- 金子 つち
- 天沼 子平
- 原野 楽天
- 宮入 つる
- 浦野 房子
- 松村 信篤
- 菅沼うめの
- 四ツ車梢月
- 吉岡 徬徬
- 皆川志んこ
- 三輪 恭子

## 十二月 手水舎奉掲

昭憲皇太后御歌

家ごとちちりうちはらふ音すなり  
あはれこくしもくれむとすらむ

# 相模詠草

掘りたての落花生ゆてつまみでき心ゆくまで熱かんでく  
秋桜の花一面に広がりて悠悠とびかつ西の蜻蛉  
おじいちゃん 玄関で呼ぶ幼あり孫のひと声空気をなめる  
蝉しぐれ雨音にも似る耳鳴りに時におそわれ遠き空見る  
ふるさとに懐かしみ聞く鈴虫の声はいつしか父母の声  
「敗戦」がもたらしたる良きことは「終戦」として戦つを閉ず  
年忘れ若い世代と楽しみて瓦に学ぶ短歌教室  
空中に白いカーテン広げたように地上まで付き秋の花咲く  
この年の花きはまりて揺れてある百房瑠璃の藤のむらさき  
ドツカーンと火花を見てはくり返す平和でいいと卒寿の母は  
栗むけばわきたつ香りうれしみつ夕餉に炊かむ栗のごはんを  
青天の曇き陽をうけ庭木々のみどり色濃く自然の恵み  
小出川に彼岸花訪うてウオーキング遠く高きに富士を望みつ  
日だまりの季節はめぐり秋なれば秋海棠の花咲き匂う  
夫と手をたすえ歩む老いの道曾孫の笑顔に励まされつつ  
いく日かの気がかり晴れしこの朝熱きコーヒーゆつくりする  
訪ひ行けるあと幾度かふるさとの山の桜のま白にふふく  
美容院の椅子に座れば束の間の安らぎ覚えししまどるむ



- 土屋トミ子
- 浜田 寿子
- 山口 幸子
- 山根喜美代
- 亀山 文子
- 安藤 慧
- 川島恵美子
- 天利 春枝
- 平澤まさえ
- 稲垣 武子
- 吉田 幸子
- 三留とく子
- 宮治友美枝
- 徳江 道子
- 宇田川時子
- 岡元 芳子
- 杉本 照世
- 瀧本三重子

## 表紙写真説明

### 編年集

平成二十七年正月、神門を飾る迎春神話ねぶた下絵

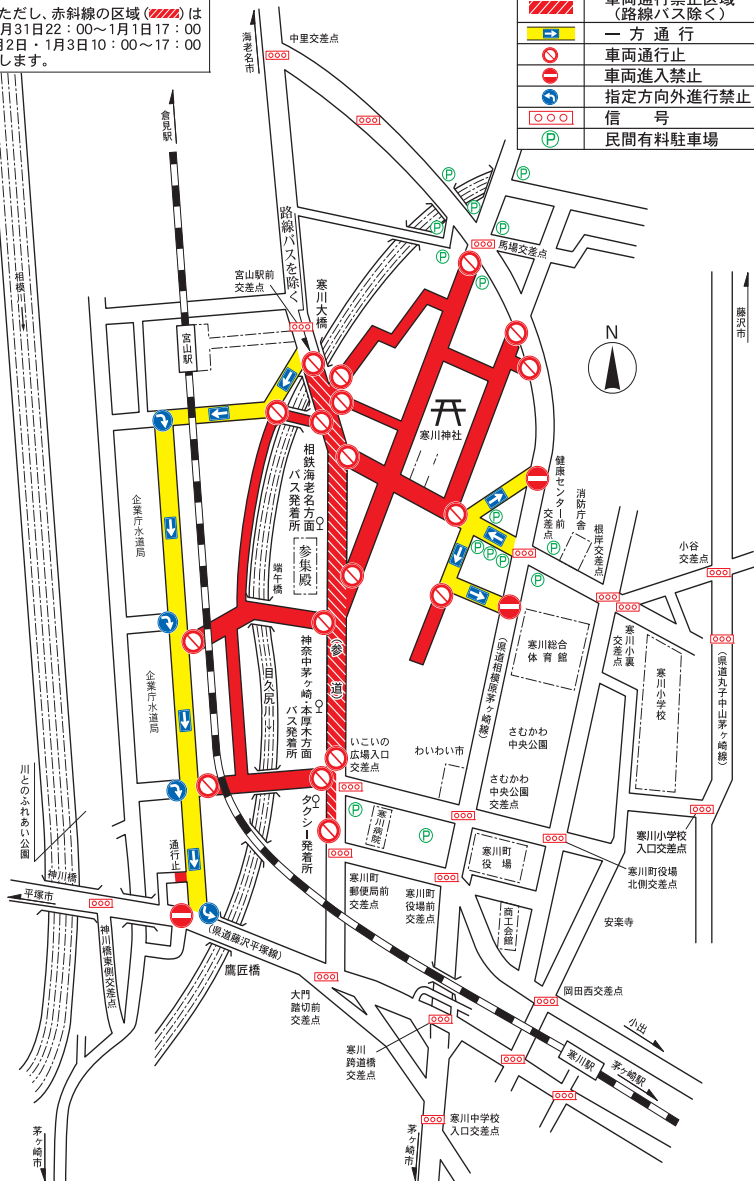
一月の終わり「あとたつた十一ヶ月で正月を迎える」

と冗談を言っていたが、あつという間に師走となつた時の経つのは早いものだと実感してしまつた。

●寒川神社付近は、道路が大変混雑します。公共交通機関をご利用下さい。  
●規制区域内での自転車通行は、ご遠慮下さい。

**規制時間**  
12月31日 22:00～1月3日 17:00  
※ただし、赤斜線の区域(斜線)は  
12月31日 22:00～1月1日 17:00  
1月2日・1月3日 10:00～17:00  
とします。

凡 例	
	車両通行止区域
	車両通行禁止区域 (路線バス除く)
	一方通行
	車両通行止
	車両進入禁止
	指定方向外進行禁止
	信 号
	民間有料駐車場



初詣には、バス・電車・タクシーをご利用下さい。

# 平成27年寒川神社初詣交通規制図

性別	年齢 (かぞえ年)	前厄	本厄	後厄
男	25歳	平成 4年生	平成 3年生	平成 2年生
	42歳	昭和 50年生	昭和 49年生	昭和 48年生
	61歳	昭和 31年生	昭和 30年生	昭和 29年生

性別	年齢 (かぞえ年)	前厄	本厄	後厄
女	19歳	平成 10年生	平成 9年生	平成 8年生
	33歳	昭和 59年生	昭和 58年生	昭和 57年生
	37歳	昭和 55年生	昭和 54年生	昭和 53年生

平成27乙未年  
厄年一覽表  
きのとひつし